

都市化の影響が比較的小さい都市（山形市・銚子市・彦根市・宮崎市等 15 地点）の平均気温を算出し、地点ごとの平均値（1991～2020 年）と比較した。その結果、過去最高だった 23・24 年の値（いずれも 1.76 度）大幅に上回った。

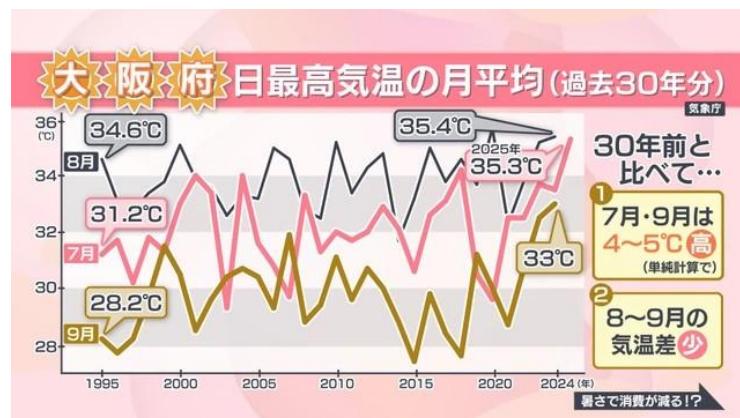
地位別では 北日本が平均 3.4 度・東日本で 2.3 度・西日本で 1.7 度高く、いずれも 1946 年統計開始以降最高であった。

40 度以上となった日数も過去最多の計 9 日に上った。観測地点数も延べ 30 に上った。7 月 29 日には 過去最多の 323 地点で猛暑日（35 度以上）を観測し、異常ずくめの夏となった。

三重大学 立花 義裕教授 ティッピングポイントに突入 30 年前より 4～5 度近く上昇 10 年後 热中症死者数 1 万人超

連日 お盆を過ぎとは思えない、茹だるような 厳しい危険な暑さが続きます。日本列島では 最高気温 40℃超えの 酷暑日 が観測され、8 月 23 日現在 猛暑日（最高気温が 35 度以上）日数が 40 日超えの地点が多数観測されています。

大阪府の 30 年間の最高気温の月平均をみると、8 月の最高気温は 1995 年が 34.6 度、2024 年は 35.4 度と余り大きな変化がない印象を受けます。処が 30 年前 31.2℃ だった 7 月の最高気温平均は 2024 年には 35.3℃ まで上昇。また 9 月の最高気温平均は 1995 年に 28.2℃ だったが 2024 年は 33℃ と、単純計算で 4～5℃ 近く上昇 しています。（図 2）



（図 2）

近年 海面水温がどんどん上昇しています。 地球温暖化の原因是、海面水温の上昇にあるといわれています。昔は 海面水温が低く 8～9 月に太陽が南下すると気温も低下していましたが、此処数年は 9 月になっても水温が下がらず 厳しい暑さが続いています。